

令和4年度 第1回 山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

1 開 会

2 館長あいさつ

3 委員紹介

4 事務局職員紹介

5 会長、副会長の選任

6 議 事

(1) 令和3年度考古博物館事業実績について

(2) 令和4年度考古博物館事業経過について

(3) 令和5年度考古博物館予定事業について

(4) 常設展・特別展・企画展の展示方法について

(5) 考古博物館利用状況について

(6) その他

7 閉 会

令和5年3月8日(水)
山梨県立考古博物館

資料目次

(1) 令和3年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1～3
2	学習会・講座など	3～6
3	イベント	6～8
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	8
5	古代衣装貸出	8
6	ボランティアガイドの実施	8

(2) 令和4年度 考古博物館事業経過について

1	展示活動	9～10
2	学習会・講座など	10～13
3	イベント	13～14
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	14
5	古代衣装貸出	14
6	ボランティアガイドの実施	14

(3) 令和5年度 考古博物館予定事業について

1	展示活動	15～16
2	学習会・講座など	16～18
3	イベント	18～19
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	19
5	古代衣装貸出	19
6	ボランティアガイドの実施	19

(4) 常設展・特別展・企画展の展示方法について

1	常設展	20
2	特別展	20～21
3	企画展	21
4	今後の対応と課題	22

(5) 考古博物館の利用状況について

- 1 利用者状況 23～24
- 2 常設展観覧者数過年度比較 25
- 3 学校関係利用状況 26
- 4 外国人利用者数 27～28

(6) その他

- 1 考古博物館とその周辺観光施設巡りについて 29～32

- ◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋） 33～36

(1) 令和3年度 考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第38回特別展『甲府城のすべてー石垣と瓦の考古学ー』

会 期： 9月30日(木)～11月23日(火・祝) 開催日数47日

会 場：当館

入館者：4,768人

概 要：甲府城跡の国史跡指定を記念して、各地の城郭出土品と比較しながら、その文化財的価値について紹介しました。

展示では、各地の発掘調査の成果と比較しながら、戦国時代から江戸時代にかけての激動期に築かれた甲府城の歴史的意義について、考古資料から改めて考える機会としました。会期中にはナイトミュージアムを開催したほか、県民の日イベントに関連したワークショップを行いました。またホームページ・SNS・動画(YouTube)で見どころ等も紹介しました。

(2) 企画展

① 春季企画展『AR古代望見ーよみがえれ！甲斐風土記の丘ー』

会 期： 4月17日(土)～ 6月13日(日) 開催日数50日

会 場：当館多目的室

入館者：3,313人

概 要：4月から稼働しているガイドアプリ「AR古代望見ーよみがえれ！甲斐風土記の丘ー」と連携した企画展として開催しました。

展示では、アプリで紹介している甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内にある古墳や遺跡に焦点をあて、古墳の被葬者の権力を示す副葬品などを最新の研究成果とともに展示し、古墳時代における甲府盆地の先進性を紹介する機会としました。

② 夏季企画展『しずおかの弥生世界』

会 期： 7月17日(土)～ 8月22日(日) 開催日数32日

会 場：当館多目的室

入館者：1,137人

概 要：「バイ・ふじのくに」文化財交流事業の一環として、静岡県と合同で開催する交流展です。この事業では山梨の縄文資料と、稲作に適した平野と東海道ルートを背景とした弥生時代の豊かな遺産をもつ静岡との間で出土品を相互に交換し、展示公開しました。会期中にはギャラリートーク、ワークショップを開催したほか、ホームページ・SNS・動画(YouTube)で見どころも紹介しました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館のため8月8日～22日は中止

③ 冬季企画展『笛吹市の出土品Ⅱ』

会 期：12月11日(土)～ 1月23日(日) 開催日数28日

会 場：当館多目的室

入館者：1,006人

概 要：県内の自治体ごとに出土品を紹介する企画展で、昨年度から全3回の予定

で笛吹市の遺跡を紹介しており、今年度は2回目を開催しました。今回は主に弥生時代・古墳時代の遺跡を取り上げ、会期中にはホームページ・SNS・動画（YouTube）で見どころも紹介しました。

- ④ 新年干支展『寅（トラ）』
会 期： 1月 2日（日）～30日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール
入館者：403人
概 要：令和4年の干支、トラに関わる歴史や出土品について紹介しました。
- ⑤ 『第19回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
会 期： 2月12日（土）～ 3月 6日（日） 開催日数19日
会 場：当館多目的室
入館者：658人
概 要：小・中学生の皆さんが、夏休みの自由研究や総合的な学習の時間に取り組んだ歴史・考古学に関する研究成果を紹介しました。
- ⑥ 『富士山ミニ展示』
会 期： 2月 5日（土）～2月27日（日） 開催日数19日
会 場：当館エントランスホール
入館者：403人
概 要：「富士山の日」にちなんで開催しているミニ展示です。今年度は、甲府盆地における富士山信仰をテーマに紹介しました。
- ⑦ 風土記の丘望見展『弥生時代末期の風土記の丘』
会 期： 1月22日（土）～ 3月 6日（日） 開催日数44日
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
入館者：679人
概 要：風土記の丘の特色である古代の遺跡や、研修センターでの事業を紹介する企画展です。令和3年度は曾根丘陵公園に広がる、弥生時代の終わり頃の暮らしを展示いたしました。また「土偶100選+α」をパネルで展示するとともに、もの作り教室で作成された参加者の作品を展示しました。
- ⑧ 『山梨の遺跡発掘展2022』
会 期： 3月12日（土）～ 4月10日（日） 開催日数26日
会 場：当館多目的室
主 催：山梨県埋蔵文化財センター
入館者：1,337人
概 要：令和3年度に県内で実施された発掘調査成果を展示しました。
- ⑨ 『武田信玄生誕連携展示』ミニ展示
会 期： 3月13日（日）～ 5月10日（火） 開催日数52日
会 場：当館エントランスホール
入館者：2,359人
概 要：信玄公生誕記念500年を記念し、関連した遺跡からの出土品を展示しました。

(3) ナイトミュージアム

会 期：10月22日（金）・11月 5日（金）・11月19日（金）・
12月 3日（金）・12月17日（金） 開催日数5日

会 場：当館

入館者：61人

概 要：午後6時～午後8時まで、展示室内の照明を落として懐中電灯で照らしながら展示解説を行うナイトミュージアムを予約制で行いました。第1～3回は特別展で、第4・5回は常設展で、それぞれ実施しました。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

令和3年度は「曾根丘陵の古墳群」をテーマに開催しました。ガイドアプリ「AR古代望見ーよみがえれ！甲斐風土記の丘ー」とともに古墳を紹介しながら、最新の研究成果を踏まえ、曾根丘陵の古墳群について改めて考える機会としました。

※第2～4回はオンライン配信による開催。

第1回 6月26日（土） 「ARでよみがえる、曾根丘陵の古墳群」

講 師：当館学芸員

受講者：22人

第2回 7月10日（土） 「墳丘・石室・埴輪ー外表施設から見た曾根丘陵ー」

講 師：山梨県観光文化部文化振興・文化財課 熊谷 晋祐 氏

受講者：28人

第3回 7月24日（土） 「鏡・馬具・武具ー副葬品から見た曾根丘陵ー」

講 師：山梨県埋蔵文化財センター 北澤 宏明 氏

受講者：24人

第4回 8月 7日（土） 「総論：曾根丘陵の古墳群」

講 師：当館学芸員

受講者：32人

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説しました。オンラインによる開催。

第1回 12月11日（土） 「縄文時代の土面と土偶」

受講者：49人

第2回 3月12日（土） 「縄文時代の戦争」

受講者：55人

(3) ふじのくに文化財交流展関連講座（ギャラリートーク）

ふじのくに文化財交流展『しずおかの弥生世界』の開催に合わせて、考古博物館の企画展示室で静岡県の遺跡の特徴や出土品について解説していただきました。

7月18日(日)・8月1日(日)
講師：静岡県埋蔵文化財センター職員
参加者：91人

(4) 職業体験講座

山梨県生涯学習推進センター主催による体験講座で、「考古博物館学芸員のしごと」をテーマに、小・中学生に学芸員の仕事を体験していただきました。当初は8月10日(火)、12日(木)の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館のため延期しての開催となりました。

12月12日(日)・19日(日)
講師：当館学芸員
受講者：10人

(5) ふじのくに文化財交流展記念講演会

ふじのくに文化財交流展『しずおかの弥生世界』の開催を記念して、講演いただきました。

8月1日(日) 「しずおかの弥生文化」
講師：静岡大学教授 篠原 ^{かずひろ}和夫 氏
受講者：34人

(6) 特別展記念講演会

第38回特別展『甲府城のすべて』の開催を記念して、講演いただきました。11月14日に開催予定だった第3回は講師の体調不良により中止。

第1回 10月10日(日) 「天下統一と金箔瓦」
講師：大阪城天守閣元館長 中村 博司 氏
受講者：77人
第2回 10月31日(日) 「甲府城跡の石垣と私たち」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 久保田 健太郎 氏
受講者：71人

(7) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

第1回 4月18日(日) 「縄文と弥生の土笛づくり」
参加者：29人
第2回 6月6日(日) 「縄文風の陶器づくりにチャレンジ」
参加者：29人
第3回 7月4日(日) 「縄文のかごづくりにチャレンジ」
参加者：31人
第4回 8月1日(日) 「江戸時代の刀の鏢形キーホルダー
づくりにチャレンジ」
参加者：31人
第5回 8月15日(日) 「古墳時代のはにわづくりにチャレンジ」

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため中止
- 第6回 9月12日(日)「江戸時代の藍染めにチャレンジ」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため中止
- 第7回 10月3日(日)「弥生時代の石包丁づくりにチャレンジ」
参加者：31人
- 第8回 11月14日(日)「木の実で縄文ペンダントづくりにチャレンジ」
参加者：31人
- 第9回 12月5日(日)「縄文と干支の土鈴づくりにチャレンジ」
参加者：32人
- 第10回 1月16日(日)・30日(日)「縄文土器づくりにチャレンジ」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 第11回 2月13日(日)「青銅鏡風ミニチュア鏡のキーホルダー
づくりにチャレンジ」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 第12回 3月6日(日)「縄文時代の石製耳飾りペンダント
づくりにチャレンジ」
参加者：18人
- (8) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)
- 第1回 5月29日(土) 「縄文風陶器作り体験」
参加者：8人
- 第2回 6月26日(土)・27日(日) 「トンボ玉作り体験」
参加者：12人
- 第3回 7月24日(土) 「青銅鏡作り体験」
参加者：10人
- 第4回 8月21日(土) 「青銅製ペーパーナイフ作り体験」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため中止
- 第5回 9月11日(土) 「藍染め体験」
参加者：8人
- 第6回 10月23日(土) 「干支の土鈴・泥塔作り体験」
参加者：22人
- 第7回 12月4日(土) 「土器ドキクッキー作り体験」
参加者：22人
- 第8回 12月18日(土)・1月8日(土)・9日(日)・30日(日)
「縄文土器作り体験」
参加者：23人
- 第9回 2月11日(金・祝)・12日(土)
「青銅鏡形チョコレート作り体験」
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- 第10回 3月12日(土) 「子持ち勾玉作り体験」
参加者：7人
- (9) 動画による普及公開 (YouTube(やまなしチャンネル)にアップロード)
- マイフェイバリットJOMON第4回
5月31日(月)公開
- マイフェイバリットJOMON第5回

3月29日（火）公開

特別展関連動画

「甲府城のすべて」メイキング動画

10月15日（金）公開

ゆっくり展示解説

①金箔瓦と甲府城 11月 4日（木）公開

②石垣と甲府城 11月12日（金）公開

企画展解説動画

①【必見！】しずおかの弥生世界

10月29日（金）公開

②「笛吹市の出土品Ⅱ」古墳時代のマツリ

1月27日（木）公開

③「笛吹市の出土品Ⅱ」弥生時代～古墳時代の木製品

2月 8日（火）公開

3 イベント

(1) 第32回風土記の丘こどもまつり（公園管理者と共催）

5月3日（月・祝）・4日（火・祝） 風土記の丘研修センターと周辺エリア

参加者：1,079人

火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。令和3年度は、感染防止対策を徹底の上、参加人数を限定して開催しました。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

① 7月18日（日）・25日（日）

『バイ・ふじのくに文化財交流事業関連ワークショップ』

（静岡県職員実施）

参加者：83人

② 11月20日（土） 『県民の日イベント』

参加者：304人

③ 1月 3日（月） 『お正月イベント』

参加者：54人

④ 3月 6日（日） 『考古博物館 de 春まつり』

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント（公園指定管理と共催）

① 7月 3日（土）～ 8月 7日（土） 『風土記の丘で七夕飾り』

参加者：65人

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため、8月8日（日）～
8月14日（土）は中止

② 7月 3日（土） 『山梨の七夕人形を作ろう』

参加者：24人

③ 9月11日（土） 『方形周溝墓で星を見る会』

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため中止

④ 10月17日（日・祝） 『秋のふれあいまつり』

参加者：114人

⑤ 11月 1日(日) 『樹木と古墳のガイドツアー』
参加者：23人

⑥ 11月23日(火・祝) 『落ち葉で焼きいも』
参加者：137人

⑦ 1月15日(土) 『古代米でもちつき』
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 夏休みイベント「なぞとき考古博2021」

日時： 7月28日(水)・7月30日(金)・8月 3日(火)・
8月 6日(金)

会場：当館常設展示室

参加者：34人

展示にちなんだ謎解きに挑戦してもらい、参加者には缶バッジ等をプレゼントしました。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館のため、8月8日(日)・11日(水)・14日(土)・20日(金)・22日(日)は中止

(5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 第19回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日時： 2月12日(土)

会場：風土記の丘研修センター講堂

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

応募件数：553件

参加者数：653点

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施しています。

① 火起こし体験 参加者：2,236人

② 勾玉作り 参加者：2,729人 など

(8) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

① 7月10日(土)・11日(日) ふじのくに文化財交流事業
静岡伊勢丹 参加者：750人

③ 7月23日(金)～25日(日) ふじのくに文化財交流事業
アピタ静岡 参加者：481人

④ 12月17日(金)～19日(日) マチナカ博物館
甲府市藤村記念館 参加者：278人

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① 考古博物館と周辺施設(直売所・温泉)との連携キャンペーン

4月17日(土)～6月13日(日) 参加者：92人

7月17日(土)～8月 7日(土) 参加者：43人

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館により、8月8日(日)～

8月22日（日）は中止

9月30日（木）～11月23日（火・祝）

参加者：33人

② 4月～ ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘

ダウンロード数	
4月	111件
5月	206件
6月	268件
7月	301件
8月	316件
9月	329件
10月	357件
11月	381件
12月	403件
1月	427件
2月	447件
3月	479件

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

- (1) 学芸員実習 8月20日（木）～30日（日） 日本大学文理学部1人
- (2) 職場体験 8月 5日（木） 山梨市立笛川中学校2人
- (3) インターンシップ実施なし。

※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴いキャンセル

5 古代衣装貸出

4月28日（水）～	5月26日（水）	富士河口湖町立勝山小学校
5月15日（土）～	6月 6日（日）	早川町立早川北小学校
8月16日（月）～	8月31日（火）	柏こども園
10月23日（土）～	11月20日（土）	都立八王子盲学校

6 ボランティアガイドの実施

令和3年度のボランティアガイドは総勢19名を認定。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためガイドは中止

(2) 令和4年度 考古博物館事業経過について

1 展示活動

(1) 第39回特別展『甲斐の勇者—その原像を探る—』

会 期： 9月28日(水)～11月23日(水・祝)

開催日数48日

会 場：当館

入館者：5,631人

概 要： 672年に勃発した天智天皇の皇位継承をめぐる古代日本最大の内乱である「壬申の乱」。大海人皇子(後の天武天皇)方の騎兵として甲斐国から動員された人物として『日本書紀』に記述がある「甲斐の勇者」をテーマに設定しました。

展示では、山梨と各地の古墳出土品を比較しながら、「甲斐の勇者」の原像を探るとともに、古墳時代を通じての被葬者像とその歴史的背景について考える機会としました。

(2) 企画展

① 春季企画展『心を描く縄文人—人面・土偶装飾土器の世界—』

会 期： 4月16日(土)～6月12日(日)

開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：4,734人

概 要：中部高地で多く発見されている縄文時代の人面・土偶装飾土器を集成し企画展として開催しました。

展示では、山梨県内出土の資料の他、県外の著名な資料をパネルで展示し、出産文土器などに代表される資料で知られていますが、縄文人の精神文化を紹介する機会としました。

② 山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』

会 期： 7月16日(土)～8月28日(日)

開催日数38日

会 場：当館多目的室

入館者：5,708人

概 要：昨年度より始まった「バイ・ふじのくに」文化財交流事業の2年目として、今年度は静岡県・長野県も含め合同で開催する交流展です。この展示では、いにしえより交流があった静岡県と長野県の縄文時代の資料を山梨県で公開し、静岡県と長野県で山梨県の資料を公開しそれぞれの魅力を発信していく事業となっています。

展示では、最古級の旧石器時代の石器など山梨で発見例の少ない資料や、相互に交流関係があったことを示す土器などを紹介しました。会期中には静岡県職員によるギャラリートーク、ワークショップも開催しました。

③ 冬季企画展『笛吹市の出土品Ⅲ-仏教の伝来と文字-』

会 期：12月10日(土)～1月22日(日)

開催日数30日

会 場：当館多目的室

入館者：516人

概 要：笛吹市の出土品シリーズの3回目、今回は古墳・奈良・平安時代の仏教伝

に関連の資料を展示。寺本廃寺や国分寺・国分尼寺など古代の仏教寺院から出土した資料や墨書や刻書の文字資料をしました。

- ④ 新年干支展『卯（うさぎ）』
会 期： 1月 2日（月）～29日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール
概 要：今年の干支である卯が施された考古資料を紹介しました。
- ⑤ 『第20回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
会 期： 2月11日（土）～ 3月 5日（日） 開催日数20日
会 場：当館多目的室
概 要：自由研究の成果を展示しました。受賞作品並びに全ての応募作品を紹介しました。
- ⑥ 『富士山ミニ展示』
会 期： 2月 4日（土）～ 2月26日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール
概 要：富士山の日に合わせて、富士山に関連した考古資料を紹介。
- ⑦ 『風土記の丘望見展』
会 期： 1月28日（土）～ 3月 5日（日） 開催日数32日
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
概 要：上の平遺跡の県指定史跡指定を記念した展示会。出土品や発掘成果を紹介しました。
- ⑧ 『山梨の遺跡発掘展2023』
会 期： 3月11日（土）～4月 9日（日） 開催日数26日
会 場：当館多目的室
主 催：山梨県埋蔵文化財センター
概 要：今年度を中心にした発掘成果などを紹介する展示会。

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「中部高地の縄文」をテーマに開催しました。県内の若手研究者を中心に最新の研究成果を踏まえ中部高地の縄文文化を考える機会としました。

※オンライン配信と現地会場による開催

- 第1回 5月21日（土） 「土器や土偶に描かれた「顔」」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 佐賀 桃子 氏 参加者：81人
- 第2回 6月18日（土） 「煮炊きに使われない縄文土器」
講師：山梨県埋蔵文化財センター 岩永 祐貴 氏 参加者：70人
- 第3回 7月 9日（土） 「環境変動と八ヶ岳山麓の縄文社会」
講師：北杜市教育委員会 生山 優実 氏 参加者：81人

第4回 7月23日(土) 「百年の論争 縄文農耕論の今」
講師：帝京大学文化財研究所客員教授・南アルプス市ふるさと伝承館館長
中山 誠二 氏 参加者：70人

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

第1回 6月4日(土) 「縄文時代の儀礼と祭祀」 参加者：79人

第2回 9月3日(土) 「民族考古学へのアプローチ」 参加者：64人

第3回 12月10日(土) 「中部高地の縄文土器」 参加者：66人

第4回 3月18日(土) 「縄文土器型式はなぜ成立するのか」

(3) 山の洲文化財交流展関連講座（ギャラリートーク・ワークショップ）

山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』の開催に合わせて、考古博物館の企画展示室で静岡県の遺跡の特徴や出土品について解説していただき、関連してワークショップを行いました。

ギャラリートーク 7月24日(日)・8月7日(日) (山梨会場)

講師：静岡県埋蔵文化財センター 富樫 孝志 氏 参加者：158人

ギャラリートーク 10月13日(木)、11月5日(土) (静岡会場)

講師：当館学芸員 参加者：40人

ワークショップ 7月24日(日)・8月7日(日)

講師：静岡県埋蔵文化財センター職員 参加者：96人

ワークショップ 10月15日(土)・16日(日)

講師：山梨県埋蔵文化財センター職員 参加者：62人

(4) 山の洲文化財交流展記念講演会

山の洲文化財交流展『富士山をのぞむ人類の登場と縄文芸術』の開催を記念して御講演いただきました。

8月20日(土) 「縄文時代における海辺の人と山の人の食性について」

講師：東海大学講師 日下 宗一郎 氏 参加者：44人

(5) 特別展記念講演会

第39回特別展『甲斐の勇者』の開催を記念して、講演いただきました。

第1回 10月9日(日) 「甲斐の先進性」

講師：埋蔵文化財センター 小林 健二 氏 参加者：68人

第2回 10月30日(日) 「「原東海軍」の地域集団と武器」

講師：富士市埋蔵文化財調査室 藤村 翔 氏 参加者：59人

第3回 11月13日(日) 「古墳の被葬者」

講師：明治大学教授 若狭 徹 氏 参加者：81人

- (6) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）
- | | | | |
|------|-----------------|-----------------------|---------|
| 第1回 | 4月24日（日） | 「縄文時代のサメの歯形のペンダントづくり」 | 参加者：30人 |
| 第2回 | 6月5日（日） | 「縄文風の陶器づくりにチャレンジ」 | 参加者：30人 |
| 第3回 | 7月3日（日） | 「縄文時代の土製耳飾りづくり」 | 参加者：28人 |
| 第4回 | 8月7日（日） | 「縄文時代の藍染め」 | 参加者：25人 |
| 第5回 | 8月21日（日） | 「縄文時代の石製耳飾りのペンダントづくり」 | 参加者：25人 |
| 第6回 | 9月25日（日） | 「弥生時代の石包丁づくり」 | 参加者：30人 |
| 第7回 | 10月9日（日） | 「石膏で古代の鏡づくり」 | 参加者：30人 |
| 第8回 | 11月6日（日） | 「大きな勾玉のペンダントづくり」 | 参加者：16人 |
| 第9回 | 12月4日（日） | 「縄文と干支（卯）の土鈴づくり」 | 参加者：30人 |
| 第10回 | 1月15日（日）・29日（日） | 「土偶づくり」 | 参加者：46人 |
| 第11回 | 2月19日（日） | 「弥生時代の矢じりのペンダントづくり」 | |
| 第12回 | 3月12日（日） | 「縄文時代のかごづくり」 | |
- (7) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）
- | | | | |
|------|-------------------------|-------------------|---------|
| 第1回 | 4月16日（土） | 「トンボ玉作り」 | 参加者：8人 |
| 第2回 | 5月28日（土） | 「陶器作り」 | 参加者：8人 |
| 第3回 | 6月25日（土） | 「草木染め」 | 参加者：9人 |
| 第4回 | 7月16日（土）・23（土）・8月13日（土） | 「土偶作り」 | 参加者：26人 |
| 第5回 | 8月20日（土） | 「青銅鏡作り」 | 参加者：19人 |
| 第6回 | 9月10日（土） | 「豪華な勾玉作り」 | 参加者：7人 |
| 第7回 | 10月22日（土） | 「古墳クッキー作り」 | 参加者：9人 |
| 第8回 | 12月3日（土） | 「干支の土鈴「卯」と泥メンコ作り」 | 参加者：6人 |
| 第9回 | 1月7日（土）・14日（土）・29日（日） | 「縄文土器作り」 | 参加者：42人 |
| 第10回 | 2月11日（土）・12日（日） | 「青銅鏡形チョコレート作り」 | |

3 イベント

- (1) 第33回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)
5月3日(火・祝)・4日(水・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
参加者: 1,672人
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しています。今回も感染防止対策を徹底の上、参加人数を限定して開催しました。
- (2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント
 - ① 7月24日(日)・8月7日(日)
『山の洲文化財交流事業関連ワークショップ』(静岡県職員対応)
参加者: 96人
 - ② 11月20日(日) 『県民の日イベント』 参加者: 465人
 - ③ 1月2・3日(月・火) 『お正月イベント』 参加者: 79人
 - ④ 3月5日(日) 『考古博物館 de 春まつり』
- (3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)
 - ① 7月2日(土)～8月7日(日) 『風土記の丘で七夕飾り』
 - ② 7月3日(日) 『山梨の七夕人形作り』 参加者: 12人
 - ③ 9月4日(日) 『方形周溝墓で星を見る会』 参加者: 40人
 - ④ 10月16日(日) 『秋のふれあいまつり』 参加者: 387人
 - ⑤ 11月3日(木・祝) 『樹木と古墳のガイドツアー』 参加者: 10人
 - ⑥ 11月23日(水・祝) 『落ち葉で焼きいも』※雨天にて中止
 - ⑦ 1月9日(月・祝) 『古代米のおしるこ』 参加者: 230人
- (4) 夏休みスタンプラリー
夏休み中に行った勾玉作り、黒曜石割イベントなど 参加者: 257人
- (5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
※チラシ配布のみの参加。
- (6) 第20回わたしたちの研究室表彰式・発表会
日時: 2月11日(土・祝)
会場: 風土記の丘研修センター講堂
応募件数: 321人
参加人数: 525人
- (7) 縄文王国山梨
県立美術館ワークショップ室にて土偶作りを2回行いました。
10月2日(日)参加者: 87人、11月6日(日)参加者: 116人
- (8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)(12月末現在)

- ① 火起こし体験 参加者：3, 391人
 ② 勾玉作り 参加者：2, 655人

(9) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

- ① 7月30日(土)・31日(日) 山の洲文化財交流事業
 アピタ静岡店 参加者：829人
 ② 8月12日(金)・13日(土)・14日(日) マチナカ博物館
 山梨県立図書館 参加者：196人

(10) 観光・地域活性化に向けた取り組み

- ① 考古博物館と周辺施設(直売所・温泉)との連携キャンペーン(12月末現在)
 参加者：389人
 ② ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ!甲斐風土記の丘」(12月末現在)
 ダウンロード数 14, 067人

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月28日(木)～8月7日(日)

都留文科大学文学部 1人
 国士舘大学文学部 1人
 跡見学園女子大学文学部 1人

(2) 職場体験 7月 6日(水)

早川町立早川中学校 1人

8月 2日(火)

山梨英和中学校 1人

8月11日(木)～12日(金) 甲斐市立竜王北中学校 4人

8月17日(水)～18日(木) 甲府市立笛南中学校 2人

8月27日(土)～28日(日) ニューライフインター
 ナショナルスクール 1人

(3) インターンシップ

7月26日(火)～28日(木) 県立白根高校 3人

5 古代衣装貸出

6月11日(土)～6月25日(土) 富士川町立鯉沢小学校
 7月16日(土)～7月30日(土) 甲州市立玉宮小学校
 7月25日(月)～8月24日(水) 近畿大学附属新宮高校中学校
 9月21日(水)～9月30日(金) 県立わかば支援学校
 9月30日(金)～10月28日(金) 特別支援うぐいすの杜学園
 10月 6日(木)～10月28日(金) 駿台甲府小学校
 10月 8日(土)～11月 6日(日) 都立八王子盲学校
 11月10日(木)～12月 9日(金) 県立やまびこ支援学校
 11月23日(水)～12月18日(日) 県立ふじざくら支援学校
 1月18日(水)～2月 3日(金) 県立あけぼの支援学校

6 ボランティアガイドの実施

令和4年度のボランティアガイドは総勢19名を認定。学校対応、夏休み中にガイドを実施しました。

(3) 令和5年度 考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 第40回特別展「星降る中部高地の縄文世界

ー黒曜石ネットワークによる物流と人流ー」(仮称)

会 期： 7月 8日(土)～ 9月 3日(日) 開催日数51日

会 場：当館

概 要： 平成30年度に「星降る中部高地の縄文世界ー数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅ー」(長野県と共同申請)が日本遺産に認定され、山梨・長野両県における黒曜石を通じた物流と交流によって培われた我が国の縄文文化を代表する遺跡や土器・土偶といった文化財が評価されてきました。

長野県では黒曜石の鉱山(ハヶ岳)を背景にムラが造られ、交流を通じた造形美な土器や土偶が造られてきました。一方、山梨県では、採掘された黒曜石をブランド化し、物流の拠点として大きなムラが造られ、周辺地域の影響を受けながら独自に発達した優美な土器などが造られてきました。道具の材料としては、列島内で最大かつ良質な石材であり、黒曜石の交易ルートの発達と共に約五千年前に列島内で最も先進地域となりました。

展示では、山梨と長野県各地の日本遺産の構成文化財を比較しながら、「中部高地の縄文世界」の原像を探るとともに、いにしえから行われていた物流による交流の歴史的背景について考える機会とします。

巡回展『発掘された日本列島 2023』

会 期： 9月16日(土)～10月29日(日) 開催日数41日

会 場：当館

主 催：文化庁

概 要： マスコミを賑わせた遺跡から発掘された最新の出土品が全国からもたらされると共に、県内の遺跡から発見された資料も同時に展示します。展示資料については文化庁が監修したもので、例年全国から各時代15遺跡程度が選択され、それらの遺跡から出土した逸品が出展されます。

(2) 企画展

① 春季企画展『御嶽昇仙峡国名勝指定100周年記念 クリスタルロード』

会 期： 4月15日(土)～ 6月11日(日) 開催日数51日

会 場：当館多目的室

連携館：山梨ジュエリーミュージアム(研磨加工体験イベント)

概 要： 山梨の特産品である水晶利用の歴史をクローズアップし、旧石器・縄文時代の水晶加工遺跡や水晶製の石器をはじめ、古墳時代の装身具、現世標本に至るまでの3万年以上にわたる山梨の人々と水晶のかかわりを考古資料から探っていきます。

② 冬季企画展『山の洲文化財交流展』

会 期： 12月 9日(土)～ 1月21日(日) 開催日数35日

会 場：当館多目的室

概 要： 山の洲文化財交流事業の一環として、山梨・静岡・長野・新潟と合同で開

催する交流展です。展示では、各県が誇るイチオシの文化財を巡回展示しながら、いにしえから多くの人や物が交流する交通の要衝として発展した様子を考古資料で紹介します。

③ 新年干支展『辰（タツ）』

会 期： 1月 2日（火）～ 1月28日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール

④ 『第21回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 2月10日（土）～ 3月 3日（日） 開催日数20日
会 場：当館多目的室

⑤ 『富士山ミニ展示』

会 期： 2月 3日（土）～ 2月25日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール

⑥ 『風土記の丘望見展』

会 期： 2月24日（土）～ 3月31日（日） 開催日数32日
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑦ 『山梨の遺跡発掘展2022』

会 期： 3月 9日（土）～ 4月 7日（日） 開催日数25日
会 場：当館多目的室
主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「甲州武田氏の終焉と天正壬午の戦い-山梨の城-」（仮）をテーマに開催します。武田氏の興隆と終焉にとともに勃興した城を紹介しながら、最新の調査成果を踏まえ紹介する機会とします。

※オンライン配信による開催。

11月から1月にかけて全4回。武田氏館跡、新府城跡、天正壬午の戦いで使われた城郭群（北杜）、浄古寺城跡とその周辺、甲府城跡と新知見。

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

山梨の縄文後・晩期の祭祀や土器などに見られる特色について紹介します。

第1回	6月3日（土）	「タイトル未定」
第2回	9月2日（土）	「タイトル未定」
第3回	12月9日（土）	「タイトル未定」
第4回	3月16日（土）	「タイトル未定」

(3) 特別展記念講演会・座談会

第40回特別展『星降る中部高地の縄文世界－黒曜石ネットワークによる物流と人流－』の開催を記念して、講演いただきます。

会期中に基調講演会と座談会を実施して、特別展への理解を深める。

8月20日(日)

・場 所 風土記の丘研修センター(ネット同時配信予定)

・基調講演

高橋館長(日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の魅力)

・講演会

大竹幸恵(日本考古学会副会長、長和町教育委員会)

一部・黒曜石鉱山と文化交流

保坂康夫(身延山大学)

二部・縄文時代の黒曜石の流通

栗島義明(明治大学研究知財機構 特任教授)

三部・縄文の装身具

小野正文(元山梨県埋蔵文化財センター所長)

四部・中部高地の縄文世界

・座談会

(質問を交えながら日本遺産の魅力を語る)

野代幸和(学芸課長)コーディネーター

(7) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

第1回 4月9日(日) 「縄文時代の石製耳飾りづくり」

第2回 5月21日(日) 「大きな勾玉の首飾りづくり」

第3回 6月18日(日) 「紙すきでうちわづくり」

第4回 7月16日(日) 「縄文のかごづくり」

第5回 8月13日(日) 「縄文と弥生の土笛づくり」

第6回 9月17日(日) 「江戸時代の藍染め」

第7回 10月8日(日) 「弥生時代の石包丁づくり」

第8回 11月12日(日) 「縄文風陶器づくり」

第9回 12月3日(日) 「干支の縄文土鈴づくり」

第10回 1月14日(日)・28日(日) 「縄文土器づくり」

第11回 2月18日(日) 「縄文時代のサメの歯形のペンダントづくり」

第12回 3月10日(日) 「青銅鏡風ミニチュア鏡のキーホルダーづくり」

(8) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

第1回 4月22日(土)・23日(日) 「トンボ玉作り」

第2回 5月20日(土) 「黒曜石で石器作り」

第3回 6月17日(土) 「縄文の編み物作り」

第4回 7月15日(土) 「石製ペンダント作り」

第5回 8月19日(土)・20日(日) 「縄文クッキー作り」

第6回 9月2日(土) 「染め物作り」

第7回 10月28日(土) 「縄文風陶器作り」

第8回 11月25日(土) 「干支土鈴「辰」と泥メンコ作り」

- 第9回 1月 6日(土)・13日(土)・28日(日) 「縄文土器作り」
 第10回 2月10日(土)・11日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り」
 第11回 3月 9日(土) 「青銅器作り」

3 イベント

- (1) 第34回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)
 5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
 火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催を予定しています。
- (2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント
- | | | |
|---|----------------|-----------------|
| ① | 11月20日(月) | 『県民の日イベント』 |
| ② | 1月 2日(月)・3日(火) | 『お正月イベント』 |
| ③ | 2月23日(金・祝) | 『富士山の日関連イベント』 |
| ④ | 3月 3日(日) | 『考古博物館 de 春まつり』 |
- (3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)
- | | | |
|---|--------------------------|----------------|
| ① | 7月 1日(土)～ 8月22日(火:旧暦の七夕) | 『風土記の丘で七夕飾り』 |
| ② | 7月 1日(土)・ 2日(日) | 『山梨の七夕人形を作ろう』 |
| ③ | 9月後半 | 『方形周溝墓で星を見る会』 |
| ④ | 10月15日(日・祝) | 『秋のふれあいまつり』 |
| ⑤ | 10月29日(日) | 『樹木と古墳のガイドツアー』 |
| ⑥ | 11月23日(木・祝) | 『落ち葉で焼きいも』 |
| ⑦ | 1月 8日(月・祝) | 『古代米でもちつき』 |
- (4) 夏休みスタンプラリー
 7月、8月の夏休み期間。景品をプレゼント。
- (5) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加
 アイメッセ山梨にて開催、参加予定
- (6) 第21回わたしたちの研究室表彰式・発表会
 日 時: 2月10日(土)
 会 場: 考古博物館エントランスホール
- (7) 縄文王国山梨
 特別展に合わせて連携イベントを検討中
- (8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)
 団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。
- | | | |
|---|--------|----|
| ① | 火起こし体験 | |
| ② | 勾玉作り | など |

(9) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

- ① マチナカ博物館による外部出張展示を予定

(10) 観光・地域活性化に向けた取り組み

- ① 考古博物館と周辺施設（直売所・温泉等）との連携キャンペーン
② ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」
③ 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

- (1) 学芸員実習
(2) 職場体験 学校向け
(3) インターンシップ

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。
主に学校、団体向けに貸出予定。

6 ボランティアガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施予定。

(4) 常設展・特別展・企画展の展示方法について

当館は国指定の重要文化財や国宝の考古資料に限定して展示する施設として文化庁に認定された公開承認施設となっています。

1 常設展

○山梨県内各地の遺跡から出土した旧石器時代～明治時代までの資料約2,000点を時代順に展示しています。

・山梨県以外の施設等が所蔵する県内の出土品などで希少性が高い資料や木製品など劣化が想定される資料については、レプリカを作成し、展示しています。

・重要文化財を中心に年間2回程度の展示替えを実施しています。

・解説パネル、キャプションは職員が作成。

・照明は、従前のハロゲンからLEDに順次交換しており、照度は一部を除き200～250ルクスでやや明るめになっています。



展示状況

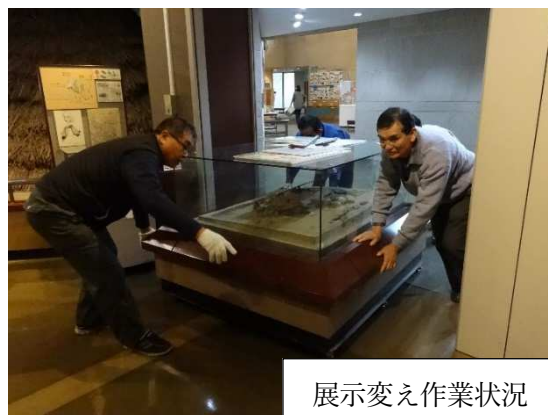
2 特別展

○毎年1回、11月3日の開館記念日を挟んで、7週間前後の会期で通常は開催しています。

・館長を中心に、学芸課職員が協議を行い、且つ、主管課を通じて、知事の見解も踏まえる中でテーマを決定しています。

・当館の特長である「縄文文化」や「古墳文化」を大きな核とし、最新の発掘調査、研究成果が公表されたもの、また、県民一般の注目を受けているものなどを伝える企画を立案しています。

・全国各地の国宝・重要文化財などの考古資料と県内の資料を展示することで、我が国における山梨の位置づけを紹介しています。



展示替え作業状況



遺物の開梱作業(縄文土器)

- ・近年では中世から近世にかけての出土品も増加しており、平成28年度は「よみがえる武士の魂」を開催、令和3年度は、「甲府城のすべて」を開催しました。
- ・周年記念を中心として、海外で注目されている考古学の成果も紹介しています。
- ・常設展示のスペースを使用して開催しています(常設展の撤収・復旧はボランティアの協力を得ながら行い、特別展会期中の常設展は展示室の面積の関係から縮小されます)。
- ・借用資料は美術品専用車で輸送、展示作業を含め業者に委託しています。
- ・ポスター・リーフレットなどは職員がデザインしています。



展示作業状況(甲府城のすべて)

3 企画展

- 館所蔵資料と県内市町村所蔵資料を中心に、春(4月中旬～6月上旬)・夏(7月中旬～8月下旬)・冬(12月初旬～1月下旬)に開催しています。
- ・春季・夏季は常設展示をさらに掘り下げた企画や山梨の歴史文化に関わるものなど、冬季は各市町村に焦点をあてた企画などを立案しています。
- ・多目的室(123㎡)で開催、無料開放。
- ・資料の輸送から展示、ポスター作成等、すべて職員が実施しています。
- ・この他、「わたしたちの研究室」(2月)、「山梨の遺跡発掘展」(3月)を開催、エントランスホールでは「新年干支展」(1月)「富士山ミニ展示」(2月)、風土記の丘研修センターでは年1回「風土記の丘望見展」などを開催しています。



夏季：山の洲文化財交流展



春季：心を描く縄文人

4 今後の対応と課題

○先端技術の活用

- ・令和3年度より、風土記の丘公園内にある古墳が造られた当時の姿をARで体感し、出土品を博物館で見学することにより、公園全体を博物館として活用する「ARミュージアム」を稼働しています。
- ・また近年では文化財を観光資源として活用することを求められていることから、多言語などへの対応をおこなっています。



AR 古代望見ガイドブック

○40周年、50周年に向けて

- ・昭和57年の開館から40年が経過しており、常設展示室は床や壁紙の劣化が進むとともに、固定ケースのため展示構成や内容等に大幅な変更ができない状況となっています。残念なことに現在までリニューアル工事等は実施しておりません。
- ・館内には、毎年増加する収蔵資料の保管施設(場所)が不足しています。このため、現在は北杜市の高校跡地を収蔵庫として使用するなど、分散して保管せざるを得ず、資料の保管・保存・活用に不便な状況が生じています。
- ・他の県立文化施設と比較して展示面積が少なく、特別展示室が無いことから、スペース確保のため、毎年、特別展の前後1週間程度を臨時休館し、苦肉の策として常設展示品を常設展示室の一部と多目的室に移設して常設展示室としています。
- ・縄文文化への注目が続いている中、我が国でも有数の縄文時代の優品資料を多数所蔵する当館においては、重要文化財の保管環境や活用、魅力などの情報発信の強化のためにも、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を紹介するスペースを新たに確保するなど、早急に増改築とリニューアルが必要な状況です。



壁のシミ



床の割れ

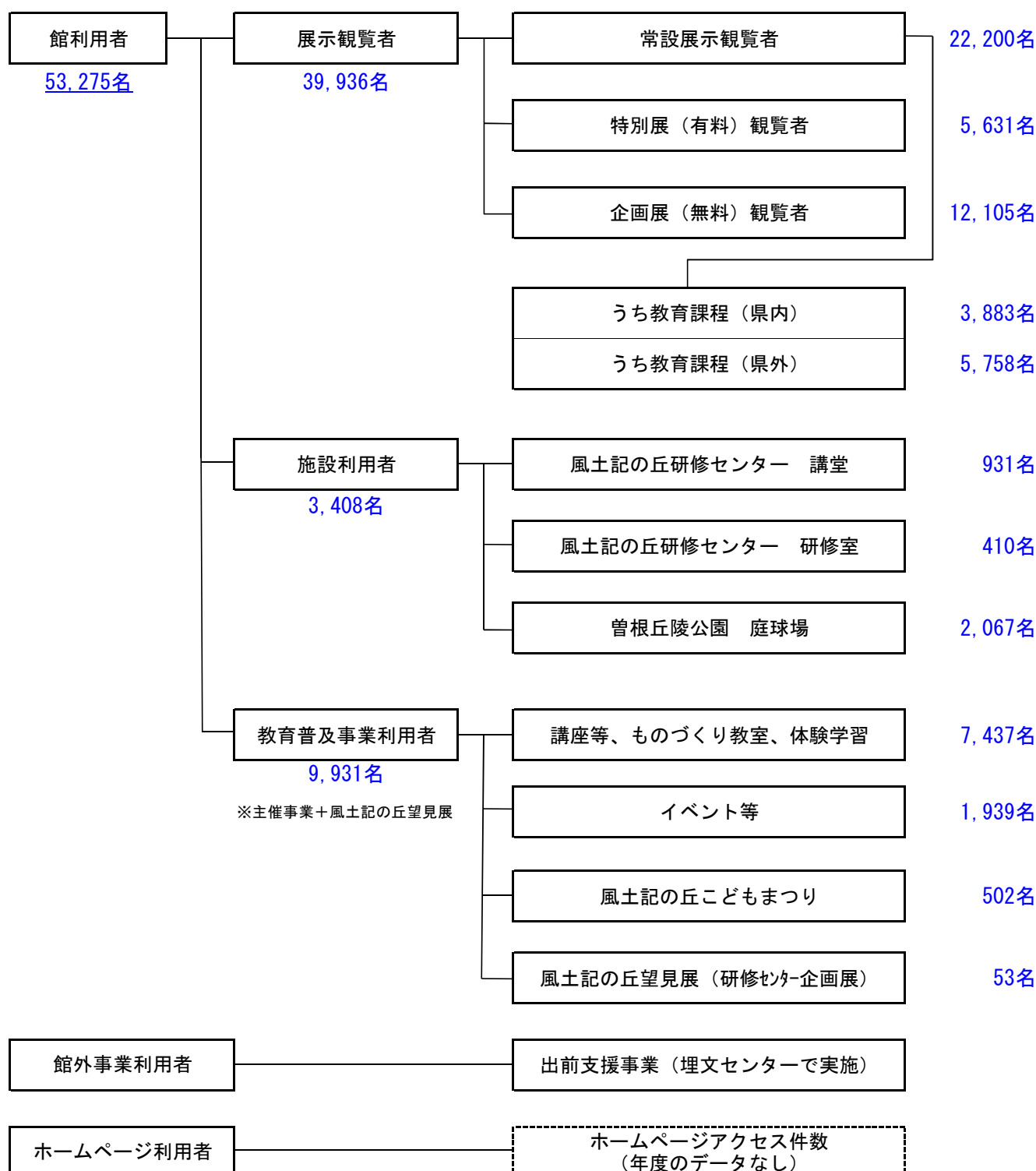
(5) 考古博物館の利用状況について

1 利用者状況

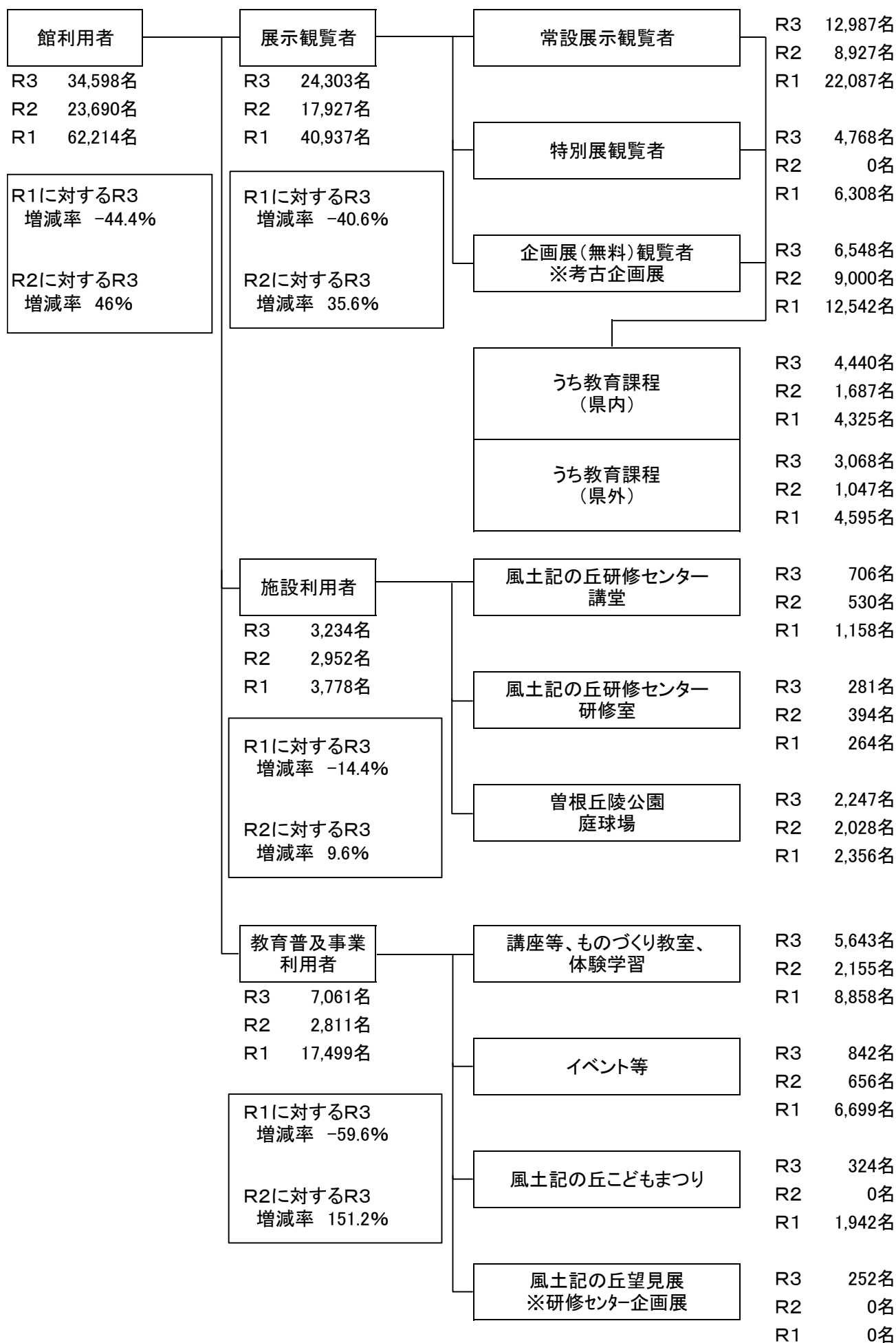
令和4年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和4年度1月末現在

- 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。
- ここに示す利用者数は、令和5年1月末までの実績である。



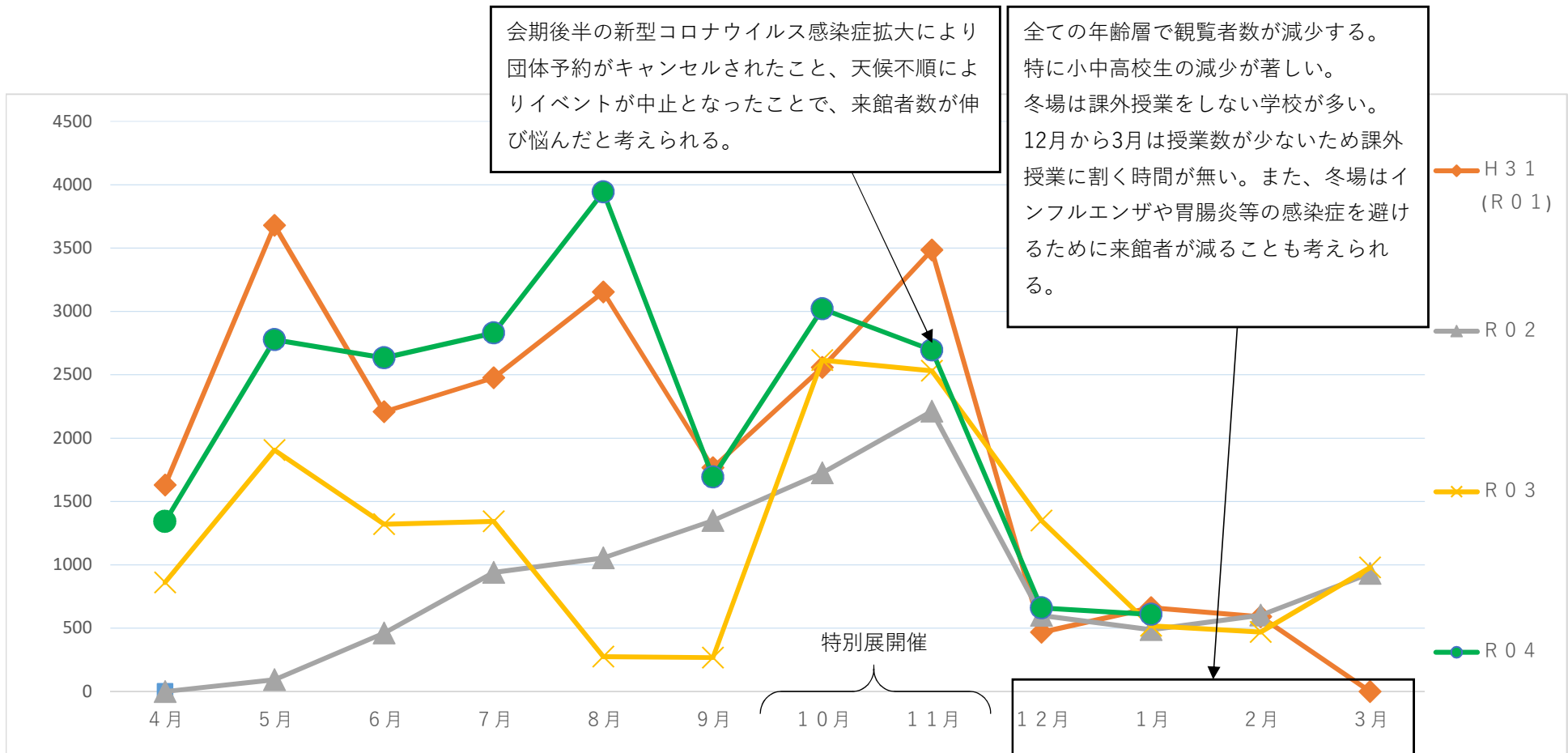
考古博物館 1 月末における「利用者」の状況



2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H 3 1 (R 0 1)	1,630	3,679	2,209	2,477	3,154	1,766	2,558	3,484	468	662	591	0	22,678
R 0 2	0	93	462	941	1,055	1,350	1,726	2,212	600	488	602	931	10,460
R 0 3	860	1,905	1,320	1,343	276	268	2,615	2,531	1,350	519	469	979	14,435
R 0 4	1,341	2,776	2,634	2,830	3,943	1,693	3,021	2,694	659	609			22,200



3 学校関係利用状況

令和4年1月末現在

県内＋県外 利用の状況	R4年度 (1月末)		R3年度 (3月末)		R2年度 (3月末)	
施設利用 (常設展)	126件	6,825人	104件	5,275人	70件	3,099人
小学校	95件	4,553人	84件	3,965人	50件	2,316人
中学校	24件	1,294人	17件	677人	16件	399人
高校	3件	123人	2件	75人	3件	61人
その他 (児相など)	4件	184人	1件	24人	1件	23人
引率者	－	671人	－	534人	－	300人
職場体験	5件	9人	0件	0人	1件	1人
教材貸出 (古代衣装)	9件	－	2件	－	6件	－
合 計	140件	6,834人	106件	5,275人	77件	3,100人

令和4年度各月の常設展利用状況(県内＋県外) 延べ利用校・・・126校 延べ利用者数・・・6825人

月	小学校		中学校		高校		その他 (児相など)		引率者
4月	0校	0人	0校	0人	0校	0人	0校	0人	0人
5月	15校	555人	11校	455人	2校	72人	0校	0人	124人
6月	27校	1,206人	4校	208人	1校	51人	4校	184人	198人
7月	5校	348人	3校	221人	0校	0人	0校	0人	51人
8月	2校	140人	1校	11人	0校	0人	0校	0人	23人
9月	13校	576人	2校	183人	0校	0人	0校	0人	94人
10月	19校	1,152人	3校	216人	0校	0人	0校	0人	128人
11月	11校	425人	0校	0人	0校	0人	0校	0人	42人
12月	3校	151人	0校	0人	0校	0人	0校	0人	11人
1月	0校	0人	0校	0人	0校	0人	0校	0人	0人
2月									
3月									
合計	95校	4,553人	24校	1,294人	3校	123人	4校	184人	671人

4 外国人利用者数

平成31年度 (令和元年度)	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	13	3	16	15	25	72	春季企画展 4/20～6/16
7月～9月	2	10	6	11	5	34	夏季企画展 7/13～8/25
10月～12月	37	0	2	14	70	123	特別展開催（縄文文化の頂点）10/2～11/24 冬季企画展 12/7～
1月～3月	0	7	0	6	1	14	冬季企画展 ～1/26 臨時休館 2/28～
合計	52	20	24	46	101	243	中国21.4% 韓国8.2% アジア9.9% 欧米18.9% 他41.6%

令和2年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	0	0	0	4	0	4	臨時休館 ～5/21
7月～9月	5	0	4	2	2	13	夏季企画展 7/18～8/23 秋季企画展 9/8～
10月～12月	0	1	9	7	0	17	秋季企画展 ～11/23 冬季企画展 12/5～
1月～3月	0	2	2	4	5	13	冬季企画展 ～1/24 わたしたちの研究室 2/13～3/7 山梨の遺跡展 3/13～
合計	5	3	15	17	7	47	中国10.6% 韓国6.4% アジア31.9% 欧米36.2% 他14.9%

令和3年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	3			3	7	13	山梨の遺跡展 ~4/11 春季企画展 4/18~6/13
7月~9月	1			2	2	5	夏季企画展 7/17~8/22 臨時休館 8/8~9/12 特別展開催（甲府城のすべて）9/30~
10月~12月			1	4		5	特別展開催 ~11/23 冬季企画展 12/11~
1月~3月							冬季企画展 ~1/23 わたしたちの研究室 2/12~3/6 山梨の遺跡展 3/12~
合計	4	0	1	9	9	23	中国17.4% 韓国0% アジア4.4% 欧米39.1% 他39.1%

令和4年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	5	0	2	15	1	23	山梨の遺跡展 ~4/10 春季企画展 4/16~6/12
7月~9月	13	8	7	16	0	44	山の洲文化財交流展 7/16から8/28 特別展開催（甲斐の勇者）9/28~
10月~12月	20	1	4	14	0	39	特別展開催 ~11/23 冬季企画展 12/10~
1月~3月	6	2	1	1	0	10	冬季企画展 ~1/22 わたしたちの研究室 2/11~3/5 山梨の遺跡展
合計	44	11	14	46	1	116	中国37.9% 韓国9.5% アジア12.0% 欧米39.6% 他1.0%

・令和4年度の外国人利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響前である平成31年度の状況に戻っていない。

(6) その他

1 考古博物館とその周辺観光施設巡りについて

(1) 概要

令和2年秋の企画展（特別展の代わりに実施）に合わせて始めた事業です。景品付きのスタンプラリーを開催することで、周辺施設への誘客を促し、地域の経済活性化に寄与することを目的としています。当初は企画展（特別展）に合わせて開催していましたが、令和4年度は4月～3月で開催しています。事業費を持っていないため、スタンプラリーの台紙や用意する景品もすべて職員の努力となっています。

(2) 開催施設

みはらしの丘 みたまの湯（市川三郷町）
上九の湯ふれあいセンター（甲府市）
風土記の丘農産物直売所（甲府市）
道の駅とよとみ（中央市）

(3) 事業内容と結果

令和3年度春

- ・景品

訪問施設1箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設2箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設3箇所	缶バッジ	クリアファイル	200円ガチャ	
訪問施設4箇所	缶バッジ	クリアファイル	200円ガチャ	300円ガチャ

- ・参加者 92名

令和3年度夏

- ・景品

訪問施設1箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設2箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設3箇所	缶バッジ	クリアファイル	200円ガチャ	
訪問施設4箇所	缶バッジ	クリアファイル	200円ガチャ	300円ガチャ

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により途中休館
- ・参加者 43名

令和3年度秋

・景品

訪問施設 1 箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設 2 箇所	缶バッジ	クリアファイル		
訪問施設 3 箇所	缶バッジ	クリアファイル	200 円ガチャ	
訪問施設 4 箇所	缶バッジ	クリアファイル	200 円ガチャ	豆はにわ

・特別展の開催と同時に募集を始めたメールマガジンの登録者を対象に、特別景品が受け取れる抽選券を用意したが、応募は無かった。

・参加者 33名

令和3年度冬

・景品

訪問施設 1 箇所	缶バッジ	クリアファイル			
訪問施設 2 箇所	缶バッジ	クリアファイル			
訪問施設 3 箇所	缶バッジ	クリアファイル	土鈴	縄文風マグネット	
訪問施設 4 箇所	缶バッジ	クリアファイル	土鈴	縄文風マグネット	トンボ玉

・参加者 9名

令和4年度

・景品

訪問施設 1 箇所	缶バッジ	クリアファイル				
訪問施設 2 箇所	缶バッジ	クリアファイル				
訪問施設 3 箇所	缶バッジ	クリアファイル	土鈴	縄文風マグネット	トンボ玉	
訪問施設 4 箇所	缶バッジ	クリアファイル	土鈴	縄文風マグネット	トンボ玉	マスクingテープ

・参加者 389名（12月末日時点）

（4）各施設からの共催品

- | | |
|---------------|----------------|
| ・みはらしの丘 みたまの湯 | 手ぬぐい |
| ・上九の湯ふれあいセンター | 商品割引券 |
| ・風土記の丘農産物直売所 | 軽食コーナーのコーヒー無料券 |
| ・道の駅とよとみ | クリアファイル |

考古博物館とその周辺観光施設巡り 2022 アンケート中間報告について

考古博物館とその周辺観光施設巡りは、考古博物館とその周辺施設の地域経済の活性化を目的として、令和2年度より周辺4施設とともに実施しているスタンプラリーです。

令和3年度までは、企画展（特別展を含む）の期間毎に行っていましたが、令和4年度は4月16日～3月3日の期間で行っております。

スタンプラリー参加者：389名（12月末日時点）

※前年は4回合わせて177名であったため、現時点で220%増

居住地

山梨県内	243名	62%
山梨県外	146名	38%
合計	389名	100%

年代

～10代	134名	34%
20代	15名	4%
30代	45名	12%
40代	72名	19%
50代	38名	10%
60代	56名	14%
70代～	21名	5%
無回答	8名	2%
合計	389名	100%

各施設の利用割合

風土記の丘農産物直売所	354名	91%
道の駅とよとみ	296名	76%
上九の湯	139名	36%
みたまの湯	214名	55%
利用者数	389名	

複数施設訪問割合

1箇所	95名	24%
2箇所	96名	25%
3箇所	72名	19%
4箇所	126名	32%
合計	389名	100%

・参加者の各施設の利用割合は大幅に増加しており、最もアクセスが困難な上九の湯でも、3人に1人以上が利用しています。風土記の丘にいたっては9割以上が利用しています。

・前年度と比べて参加者が大幅に増加しており、当事業が浸透していることが窺えます。

特別景品について

概要

- ・スタンプラリー参加者のうち全施設全てを回った方にのみ応募券を渡し、当選した方に特別景品を渡す。
- ・対象者は応募券に住所・氏名・電話番号を記入し、考古博物館が受け取る。
- ・抽選は3月5日に行う。
- ・特別景品の抽選は考古博物館が行い、考古博物館のSNS等で結果を公開する。
- ・当選者へは考古博物館から電話で連絡をする。

考古博物館の特別景品候補

- ・勾玉作り体験（通常は250円、所要時間約90分） 3件



- ・トンボ玉作り体験（通常は500円、所要時間約60分） 3件



- ・青銅鏡チョコレート作り体験（通常は約600～1,500円、所要時間約3時間） 4件程度



山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

別表第一 知事の附属機関(簡略)

山梨県立美術館協議会
山梨県考古博物館協議会
山梨県地方産業教育審議会
山梨県文学館協議会

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 知事の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

山梨県考古博物館協議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。

(会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。